

## 研究実施のお知らせ

研究課題名:せん妄対策に精神科リエゾンチームとして関わった積極的疼痛管理策定とその効果

研究期間: 仙台市立病院倫理審査委員会承認後～令和7年3月28日

仙台市立病院では、倫理審査委員会の承認及び院長の許可の基、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年6月30日施行)に基づき、匿名化された情報(診療録等)の研究利用について、以下に公開いたします。

### 【研究の対象となる方】

2023年7月から12月までと2024年の7月から12月までの期間において手術を行った9階西病棟の入院患者

### 【研究の目的と意義】

当院は精神病床がある総合病院で様々な疾患を有する高齢者が多く入院しています。せん妄やその予防で主たる診療科からリエゾン精神科へのコンサルト数は年々増加傾向にあります。せん妄の促進因子として疼痛があげられ、術後せん妄の予防と看護負担の軽減を目的とした、せん妄と鎮痛薬の院内勉強会を実施しました。その会により策定された疼痛管理の運用効果について調査を行います。

### 【研究の方法】

対象患者について、当院電子カルテを用いて後方視的に調査を行います。

### 【研究に用いる試料・情報の種類】

診療録に記録された診療情報(薬剤データ等)を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、倫理指針等により個人情報厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

### 【利益・不利益】

過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等ありません。

### 【利益相反の状況】

この研究は、当院の研究費によって実施しておりますので、外部の企業等からの資金の提供を受けておりません。研究者が企業等から独立して計画し実施することから、特定の企業が研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、本研究の研究代表者および共同研究者には開示すべき利益相反はありません。

### 【研究の実施体制】

この研究は、単施設研究とし、以下の体制で実施されます。

研究代表者:薬剤科 穂積 壮一

共同研究者:薬剤科 引地 宗孝、山家 聡美、藤本 英明、内金崎 叡智

精神科 佐藤 博俊、和田 努

看護部 山家 香織、吉田 慎吾

総合サポートセンター:原田 省吾、菅原 幸、佐藤 陽子

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント(説明と同意)を受けることを必ずしも要しないと定められております。そのため今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合などは、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点や研究に関するご質問がございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

#### **【問合せ先】**

仙台市立病院 薬剤科 穂積 壮一  
仙台市太白区あすと長町一丁目1番1号  
電話:022-308-7111(代表)